

会見小だより

夢や目標に向かって 仲間と共に努力する 会見の子

令和6年7月1日

第4号

南部町立会見小学校



防災でつながる～高知県佐川町との交流～

校長 生田 久枝

今年の梅雨入りは、平年より16日、昨年よりも24日遅い発表となりました。6月に入っても、雨がほとんど降らず、気温も高く、毎日のように熱中症警戒情報が出される日々でした。雨が降らないので、1・2年生は、自分たちが育てているアサガオや夏野菜、サツマイモの水やりを毎日がんばっていましたが、やっと雨が降り、水やりも雨に助けられています。雨は作物や私たちの生活に必要なものですが、降りすぎると大きな災害につながります。今週は雨続きの予報で、大雨の影響が心配されるところです。

さて、南部町は、平成18年に高知県の^{さかわ}佐川町と防災協定を結んでいます。この協定は、いずれかの地域において、災害が発生した際に助け合うというものです。

高知県は、南海トラフ地震が起こる可能性がある地域です。会見地区も雨が降れば土砂災害の危険がある地域であり、平成12年には、西部地震により大きな被害を受けました。

いざというときに助け合うためには、佐川町と南部町が仲良くなっておかなくてはなりません。そこで、仲良くなるための一つの取組として、今年度、小学校同士の交流をすることになりました。

7月9日(火)の午前中に、佐川町立^{とがの}斗賀野小学校の校長先生と教育研究所の先生、合わせて3名の先生が会見小に来られます。全学級の学習の様子を参観したり、防災教育について意見交流をしたりする予定です。また、会見小の5年生と^{とがの}斗賀野小の5年生が、オンラインで顔合わせをしたり、お互いの町や学校のことを紹介し合ったりすることになっています。斗賀野小は会見小と同じぐらいの規模です。5年生は当日の交流を楽しみにしながら、準備を進めているところです。

能登半島地震から半年が経ちました。今も避難生活を余儀なくされている方がたくさんおられます。道路や建物などの復旧作業も続いています。地震、津波、台風、土砂災害など、「災害大国」ともいわれる日本では、いつどこで災害に遭遇してもおかしくありません。学校でも家庭でも地域でも、日頃から防災意識をもち、防災対策を考えていくことが大切ですね。

保小中一斉公開日

6月4日(火)

お忙しい中、たくさんの保護者や地域の皆様に来校いただきましてありがとうございました。当日は、久しぶりに多くの皆様に、学習の様子を参観いただき、子ども達はいつも以上にはりきって学習に取り組んでいたのではないかと思います。学校では、毎週月曜日の昼休憩は、地域の方に自由に来校していただき、子どもたちの様子を参観したり、一緒に活動してもらったりできる時間を設けています。よろしければ、ぜひ学校にお越しください。よろしく申し上げます。

避難訓練(火災)

6月19日(水)

今年初めての避難訓練(火災)を行いました。南部町の田中防災監と細田コーディネーターに、避難の様子を見ていただき、「おはしもて(おさない・走らない・しゃべらない・もどらない・低学年優先)」を合言葉にグラウンドに集まりました。まとめの話では、細田コーディネーターから、「子どもたちは、100点。」と褒めていただきました。

今回は、火災の避難訓練でしたが、2学期は、地震の避難訓練を予定しています。地震は、気をつけていてもいつ起こるか分かりません。また、ご家庭でも地震が起きた際の避難について話してみてください。



いろいろな方にお世話になっています。

6月は、CS や GTA の方に協力していただいたり、外部の方を講師にお招きして学習したりする機会が多くありました。いつも子どもたちのためにありがとうございます。これからもよろしく申し上げます。ご家庭でもお子様からお聞きになっておられると思いますが、一部をご紹介します。



【1年 いも植え】



【2年 まちたんけん】



【5年 田植え】



【全校 箏と尺八演奏&6年生体験】